

ヤングケアラー

実態と支援策は



しまだやすひろ 島田康弘 議員が町に問う！

答弁 小学校で5人、中学校は1人いる

Q ヤングケアラーの実態調査は行わないのか。また、小中学校でヤングケアラーと思われる児童・生徒はいるか。

A 学校教育課長 学校においては教育相談活動の充実・スクールカウンセラーの活用を図ります。家庭環境面ではスクールソーシャルワーカーを活用し、定はありませんが、今後、国や県の動向を注視していきます。なお、各学校で把握しているヤングケアラーと思われる児童は5人、生徒は1人います。

Q 該当児童・生徒の支援はどのように行っているのか。

A 学校教育課長 現在は実態調査を行う予定はありませんが、今後、国や県の動向を注視していきます。なお、各学校で把握しているヤングケアラーと思われる児童は5人、生徒は1人います。



早急な支援策が求められる

脱炭素

国の先行地域百選に拳手を



たにまさる 戸口勝 議員が町に問う！

答弁 課題を整理し取り組んでいきたい

Q 当町の再エネポテンシャルは、山林開発による太陽光発電ではなく、山林資源の有効活用と住宅の屋根利用が最適と考えるが。

A 環境農林課長 住宅や公共施設への太陽光発電などの再生可能エネルギーの推進や、豊富な山林資源を有効活用する木質バイオマスエネルギーの施策の推進が必要であると考えます。

Q エネルギーの地産地消の推進を。

A 環境農林課長 地域の消費エネルギーの多くは域外に依存し、代金も流出しています。エネルギーを地域の再生可能エネルギーで賄い、代金の流出を抑制し、地産地消の割合を高めていくべきと考えています。



薪ストーブってあったかい

スクールバス

保護者に寄り添った行政を



さかもとたかゆき 笹本孝幸 議員が町に問う！

答弁 1000円負担はご理解頂きたい

Q 11月5日に東小川小学校の全保護者の署名を添えたスクールバス代等の公費負担を求め、署長に提出された。また、地元住民の反対署名活動が進められているが、各家庭に毎月1000円の負担に変わりはしないか。

A 学校教育課長 町内の他の小学校の遠距離通学のご家庭、児童との公平性の点から、ご理解を頂きたいです。

Q 60人乗りのバスに59人の児童が乗車すると聞いているが、コロナ感染対策は可能か。

A 学校教育課長 学校教育課内で再検討し、大型バス1台による2便体制で行い、密を避けられると考えます。



統合される東小川小の正門

こども議会

定期的な議会の開催を



かさはらのひろひろ 笠原規弘 議員が町に問う！

答弁 令和4年度開催後改めて検討する

Q 発達段階に応じた教育を推進するために、小学校高学年時と中学校時で「こども議会」の開催が望ましいのではないかと。

A 学校教育課長 1部屋で複数の生徒が発言するなど、準備した内容を十分に発揮できない状況を痛感しています。今後、工夫改善していきます。

Q 子ども達にとって、おがわ学フォーラムでの研究発表は晴れ舞台

A 生涯学習課長 障がい者スポーツ教室を広め、障がい者と健常者が共に参加できる機会を増やしていきます。



真剣に街づくりを語ります

共生と多様性

和紙マラソンに障がい者を



たかはしいさお 高橋功人 議員が町に問う！

答弁 参加しやすい環境づくりを努める

Q 今夏オリ・パラを契機に実践した生涯スポーツは。

A 生涯学習課長 初めて4会場でポッチャ教室を実施しました。町民が障がい者の活動に関わることが共生社会の実現に不可欠だと考えるが。

Q 和紙マラソン大会に障がい者の参加を促すことは、町の姿勢を示す象徴的な場となる可能性を感じるが。

A 教育長ほか 大会運営等の見直しを図る必要がありますが、参加しやすい環境整備に努めていきます。



一球入魂、一発逆転

がん対策

コロナ禍での検診の工夫は



いぐちりょういち 井口亮一 議員が町に問う！

答弁 電話で受診勧奨などをしている

Q コロナ禍での検診実施にどんな工夫を。

A 健康福祉課長 対象者の受診しやすさに配慮したがん検診の体制づくりや受診率向上に向けた受診勧奨などに努めています。

Q 抗がん剤治療による副作用に寄り添う、医療用「ウィッグ」の購入費用を助成しては。

A 健康福祉課長 購入費用の助成については自治体があることは承知しています。先進事例や近隣自治体の状況把握に努めていきます。



早期発見のためがん検診を

小川町議会だよりは 見出しにコダワル！ 内容が一目でわかり、記事を読みたくなる見出しをつけます。

今年こそ、太いまゆ毛をかけるようになりたい (S・Sさん 34歳)

早起きはちょっと苦手だけど、自分で起きられるようにする！ (T・Aさん 7歳)

家族が1人増えます！3児の母でもキラキラ若々しく！ (N・Kさん 36歳)

マスクのない生活をしたい。みんなと楽しく会いたい。 (A・Kさん 60歳)